常磐毎日新聞
日刊
七月二十一日夕刊
定價　一部金五錢　一ヶ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
編局長　平・長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（振替口座）東京　四〇二一〇番

天氣豫報
今晩は南西の風　晴
明日は南西の風　晴

故石川湯本町長の裏手から突然爆音
竊盜した自責の念にたえず
我が身の爆破を企てたが
急に空恐ろしくなつて逃走
犯人檢擧さる

二十日午前一時頃湯本町字吹矢前湯本町長故石川德壽氏裏手約十二間程離れた鷄舍側の道路上で轟然たる爆音あり附近の人々は何れもこの深夜の爆音に驚いて起き出し大騷ぎを演じたが急報により平署から伊藤司法主任以下司法部が現場に急行取調べの結果入山採炭青葉合宿所安達郡油井村字藥師堂生れ採炭夫二瀬民二（二九）假名―の所爲と判明、午後四時頃檢擧されたが同人は昨年十二月以來同炭礦にやとはれて働く内去月二十日同僚某君の靴を盜み同町某古物商に五円五十錢で賣却

遊興に費消したが發覺を恐れることゝもに自責の念にかられ自殺せんと同炭礦からダイナマイトを竊取同夜同町川俣樓に登樓豫て馴染の酌婦アイ子（二二）を相手に遊興の後二十日午前零時半頃別項の場所で自殺せんとダイナマイトに點火したが急に恐ろしくなり其儘逃走してしまつたものである

病原菌の活躍を
飽迄屈服せよ！
殊に浸水家屋を警戒
市役所が惡疫の豫防

平市に於ける本年一月以來の傳染病の發生は腸チブス五十一、赤痢八、猩紅熱十一、ヂフテリヤ四十三であつて前年に比べれば猩紅熱が僅かに減少を示したが其他は何れも增加し殊に腸チブスは市內各地區に亘つて發生蔓延を見、殊に過般の洪水は多數の浸入家屋を出した關係の上に暑氣に伴ひ病原菌の活躍に好條件を與へて居る丈に惡疫の流行は一層甚だしいと豫想されるので市役所では此程各區に左記の注意書を發し豫防上遺憾なきを期して居る

一、過般洪水の浸水家屋に對しては浸水泥土其他の汚物を取拂ひ淸潔掃除を爲す事

一、一般蠅の驅除を圖り便壺は是れを密閉し汚物廢物の類は容器に收め必ず覆蓋を爲し蠅の出入繁殖を防止する事

一、果實、魚貝類其他生物又は不良飲食物に注意し努めて煮沸したる後飲食すること

一、食器類の煮沸肌着の洗濯寢具の日光消毒等を勵行し特に手を淸潔にすること

一、惡寒發熱を感し下痢嘔吐を催したるときは直ちに醫師の診療を受くること

一、萬一患者發生の場合は病院收容迄の間看護者は患者竝其の衣類等に接する都度手の消毒を行ひ汚物布片等は一定の場所に置き散亂せざる樣注意し必ず消毒を行ふこと

一、塵芥類廢物等は一定の容器に收め空地、溝渠、河邊、路傍に投せざること

一、手汲井戸堀拔井戸に覆蓋すること

縣下中等校庭球
明日高月臺上で試合

縣下中等學校庭球大會は既報の如くいよ／＼明二十二日午前七時から磐中コートに擧行される、參加校は

會津工業、會津中學、安積中學、安達中學、喜多方中學、郡山商業、蠶業農學、師範學校、白河中學、相馬中學、平商業、田村中學、福島商業、福島中學、双葉中學、保原中學、若松商業、磐城中學

の十八校三十六チームで今二十一日午前八時五十四分着の双中をトップに午後二時五十分蠶業農學を最後として全部平市に到着直ちに練習を開始早くも大會氣分を横溢せしめてゐるが地元磐中及び平商の出場選手は左の如く兩校共從來の戰績から見て優勝候補に目されて居り然も地元だけに應援團が殺倒するものとみられる

△磐中五年樋口儀吉―同關原定之、三年小齋賀―小松四郎　△平商五年友部六郎―歌川慶藏、四年志賀金七郎―友部正伯

東日本丸愈よ回航
來月上旬に

既報小名濱町漁業組合が東北興業會社から十六萬圓を借入れ下關市三菱彥島造船所において建造中である〃東日本丸〃（一三三トン）は去月下旬進水引續き船體の整備を急いでゐるが作業は頗る順調に進みいよ／＼八月七八日ころ小名濱に回航されることになつた

十日前からの馴染
遂に死の道連れ
預つた肥料代を費消
女も薄命を嘆いて

（昨報）四倉―草野間大浦村大字細谷地內で驀進中の下り貨物列車に飛び込み抱合ひ心中を遂げた男女の身許に就いては四倉署で調査中であつたが所持品により男は安達郡白岩村字松澤農佐藤春良（三〇）で數日前健康が優れないから郡山市で診察をうけて來ると家出、その折拂込みを依賴されて某組合から預かつた肥料代二百円を懷に三春町に至り豫て馴染であつた同町料理店堺屋事一二三方に登樓、遊興肥料代の大半を消費殊に同人は惡性の花柳病に罹つてゐたところから前途を悲觀して相手の馴染酌婦田村郡瀧根村神俣關根はなさん（二七）の長女浪（二四）を誘ふに至つたらしく

同女は四年前から東京方面で娼妓をし去る四月末會て勤めたことのある三春町堺屋に前借七百円で酌婦となり春良とは十日程前からの馴染で實父は十一年前死亡母はなさんは末子金助君（一二）を相手に手間取等をして生活してゐるが、上の男子三人は東京、大阪等何れも遠方で働いて居り去る十八日安達郡石莚種畜場に働いてゐる三男富男君（三九）の長女孫ミチ子（三）さんが死亡十九日實家で埋骨式をすませたばかりで母親はなさんは半狂亂の如く『惡周旋屋に欺されて東京の相當な家の女中になる人だからと娘を欺しこんなことになつて了つた』と號泣して居た由

時の人
素描（三）

小名濱支局通信
支局長　小野務平

鈎打八卷儀助君
（下）

玆で八卷君の爲めに辨じて置く一事が發見した　それは總て人は正規の學問をせねば處世上不可なものだと考へて居る愚者の爲めに一の淸涼劑を與へて居る事それである、前に述べた樣に君は十一才で他人の家に雇はれたと云ふ既に薄幸な境遇であつた事だ、故に僅かに尋卒したかどうかと云ふ境目に在つて他人の飯を喰はねばならぬ內に學問の必要を痛感した事勿論であつた

それで君は手當り次第新聞、雜誌、其他商賣に關する書籍をば耽讀したそして頭に納めたものは物に觸れ事に當つて之を活用するに努めた、其苦心は、人の想像し得ない精勵を積んだものである

追々と地位が向上するにつけても手に本を離すと云ふ事をせない、必らず時間的にも空間的にも讀書を廢さなかつた。この功績は遂に君の人格の上にも又職務の上にも相當の成績を擧げて居る

水工內の福尾支配人は師範出の敎育家で縣敎育界に鳴した人である事は世人の知る所、市場主任の近藤君亦弱冠にして巡査部長たる人で今頃まで警察界に在らば警視とならざるも最高警部は勿論である、牧田書記磐中出で稅務屬たり磐銀支店長たりの猛者である中に君は堂々と伍して遜色所か或點から見て君に追從の出來ぬ長者は學校出の專門家を壓倒するに十分な心意氣が誰が何と云ふても褒害し得る事を强調して止まない

君亦飽まで自重自愛研究怠らず愈々益々天稟の性を助長してせめては水工會社の爲めに延へては邦家の爲めに奮勵せられん事を願つて擱筆する

軍事扶助
社會課協議

石城、双葉兩郡社會課主任會議は二十一日午前十時から平市會議室に開き軍事扶助方法に就いて協議した

神谷蔬菜立毛品評
二十三日に

神谷村では二十三日蔬菜立毛品評會を催すが郡農會からは靑山技師が出張する

暑さに頓死

內郷村大字御厩日雇業大橋儀三郎（四三）は二十日午後二時頃炭拾ひ歸途同村御厩地內で癲癇を起し卒倒堀に入つて溺死した

大野村々葬

既報名譽の戰死を遂げた大野村出身故輜重兵上等兵會田榮君の村葬は今二十一日午後一時から同村小學校で執行された

土用入には「申分ない天候」
氷の賣行きが急増

長い間の霖雨も追ひ拂はれていよ／＼本格的の盛夏となつた土用入りの昨日平地方は九十二度といふ暑さで舖道も溶けて靴や下駄がすぶつと入る始末、然し支那大陸に活躍する皇軍將兵が百三十度からの炎天下に水も呑めず曠野を進軍するその勞苦を思へば何でもない筈キャンデーもあれば氷水もあり綠蔭もある、製氷會社などは夏らしい氷の賣行きは十九日から漸く始つた相だ、今夏までに一ケ月は雨で泣かされてしまつた譯、有馬農相の談によると全國の米作もこの分では平年作と見られるといふから農民のみでなく都會人もホット安心した、土用入りとして申分ない陽氣だ、しかも同日は丑の日とあつて肉屋、ウナギ屋、うどん屋は相當のいそがしさを見せた

小名濱町の水道
一部設計を變更

小名濱町水道事業は町當局並びに原技師の奔走に依りて順調に進展して居る事は既報の通りであるが物價高に伴ふ一部設計の變更に依り電動機（九〇馬力）を設備するため日立製作所に交渉する事と、低利資金借入增加のため大藏省に交渉すべく

各官公所
耐熱執務
半ドン全廢

平市內に於ける官公衙の役所關係は例年なら今二十一日から八月一杯半ドンになるのだが時局柄今年は平常通り官廳は午前八時から午後四時まで一段と緊張して勤務することになり郵便局はもとより、すべての役所と云ふ役所は耐熱執務銃後報國の實を擧げることになつた、なほ銀行も平常通り三時までゞある

小野町長は原技師を隨へ本日午前五時三十五分泉驛發一番列車にて助川東京に出張した

稻熱病
發生の心配

長雨のあとに二三日來急激な暑さが襲來したゝめ郡下各地には早くも稻熱病發生の心配があり郡農會は目下各村農會に狀況を照會する一方これが豫防を督勵中である

河童溺る
湯本川で

湯本町字辰ノ口仕立商與三郎氏五男菅野正七（一三）君は二十日午後一時頃附近の湯本川で水泳中溺死した

石城梨の出荷を
果樹組合が協議
此分では豐作の見込み

郡下果樹組合ではそろ／＼梨子の出廻期が近づいて來たので明二十二日平園体事務所に各組合長會議を開き出荷箱や材料に就いて協議中央出荷の準備に乘り出すことになつたが

今年は長い梅雨にも別段の被害を蒙らず順調な經過を辿りこの分では豐作だろうといづれも喜んでゐる

吳服商定休

平吳服太物商業組合は第三回目の定休日の昨二十日午前七時迄に定員一同を第一校講堂に集め國歌齊唱皇居遙拜後書道を練習せしめ終つて篠山平第一校の講話、組合長の挨拶あり午前九時日の丸辯當持參で新舞子に遠足午後六時過ぎ一同元氣で歸宅した

幽靈人夫
詐欺で取調

錦村大字中田字中田原土工郡司渡（一七）は今二十一日平檢事局で「詐欺並に電信法違反」に依り大脇檢事の取調べを受けたが同人は豫て知り合の長野縣下水郡水內村大字白鳥飛島組中村皆吉氏が人夫がなく困つてゐるのにつけ込み「人夫四名ある金送れ」との僞電を發しマンマと二十五圓を騙取したものである

小遣錢獻金

磐女寄宿生柴田加代さん外四十四名は小遣錢及び屑物を賣つて得た金三円五十八錢を第二回目の恤兵金として二十一日平市役所に寄託した

平商武道
土用稽古

平商の武道暑中稽古は八月二十日から二十四日迄五日間同校道場に行はれる

兇器を懷中

平市內某校生徒某（一七）四倉町居住某校某（一六）の兩名はいづれも面白半分にアヒクチを懷に市內に歩いてゐたこと發覺この程平署に檢擧された

磐女選手
けふ出發

磐女體育部は既報の如く明二十二日福島市に開催される縣下女子中等學校體育大會の覇權を目ざし今二十一日平發午前八時三十分正木校長以下各縣敎諭に引率され出發したが榮ある各部の出場選手は左の如くである

△陸上競技部（六十米）一年井坂京子　四年中村春子　二年有賀貞子（百米）三年佐藤ケイ（二百米）一年飯塚喜久子　二年有賀貞子（三種）四年村田良子　同中村春子（リレー）一飯塚喜久子　二年有賀貞子　三年佐藤ケイ　四年長谷川スミ　同村田良子　同馬目喜久子　同北鄕春江（八十米障碍）四年長谷川スミ（ボールスロー）三年大須賀ツネ（三段跳）三年野澤登記枝　四年馬目喜久子（走巾跳）四年北鄕春江（走高跳）一年高橋千鶴子　△庭球部四年千葉とし子―同渡邊敏子　四年木村ユキ子―同端山多賀子　四年樋口道子―三年佐藤良子　△籠球部　二年今田美代子　三年梅津吉子　花澤アヤ子　同高野喜美子　四年遠藤テルヱ　同高田千代　同高木絢子　同小園井端美　同志賀勝代　同飯塚さと子　△排球部二年石和悅子　同福島泰子　同山野邊トミヱ　三年水品淑子　同椎名トキ　同荒川スヱ子　同坂本モヨ　同佐藤增子　四年三森情子　同榊原キクヱ　同立花愛子　同佐川イツ

磐東の總會

植田町磐東銀行は來る二十五日通常株主總會を開き今年度上半期營業報告をするが當期純益金は四千五百六十圓七十一錢で株主配當は年二分四厘の一千七七十圓である

兒童等が
誠心こめて
戰地へ慰問文（二）

夕立　尋二の一　成瀨雄三

うちのまへであそんでゐると、とほくのはうで、かみなりさまがごろーッと、ちいさくなりました。私もともだちも、かほを見あはしました。すこしすぎると大きな雨がパタパタパタパタとふつてきました。あたまをあげて、むかふの山の方を見ますと、ここよりもたんと雨がふつてゐます。見てゐるうちに私のそばまで、たんとふつてきました。かみなりもちかくなつてきてあたまの上で大きくなります。そのときはわたくしもともだちもうちの中にゐてしやうじのあなから見てゐたのです。ときどきいなびかりがひかります。ものすごいゆふだちです。おかあさんが今のきしやできたのでわたくしはかさをもつてむかへにいきました。

キネマ

△聚樂館―オールトーキー黑川彌太郎入社第一回主演澤村昌之助他オールスター『宮本武藏』風の卷、高田稔主演江戸川蘭子他『南風の丘』藤山一郎主演豪華音樂映画『東京ラプソディ』外ニュース

△世界館―新興京都超大作市川右太衛門主演森靜子他『劍豪荒木又右衛門』松竹京都作品本鄕秀雄、光川京子主演『火華』松竹大船超特作坪內美子、笠智衆他『沈默の愛情』外戰況ニュース

△平館―日活超大作澤田淸他『巨猫傳』コロムビア超特作オールトーキ日本版記者活劇『ニュース、カメラマン戰線』日活多摩川傑作伊澤一郎、田村英沙子主演『報國邁進』外支那事變特報

平市人事

◎出產
△堤之內二五山本福四郎（三〇）氏長女光子さん

◎死亡
△鍛冶小路一七海老原章（六ツ）君

JOHK

今晩の部
▼後八、〇〇　物語　郷土美談「八丈島の義人」藤南秀
▼後八、三〇　アイヌ民謠「アイヌ神樂」釧路別寒邊牛村舊土人
▼後八、四〇　長唄、杵屋增子他
▼後九、〇五　浪花節二夜「刑部と三成」酒井雲
▼後九、三〇　時報ニュース、ニュース解說　氣象通報、番組豫告

明日の部
▼後〇、〇〇　和洋合奏　江東管絃樂團
▼後六、〇〇　（子供の時間）お話と鍊「音水は何に利用されるか」大阪科學劇研究會
▼後六、二五　講演「外國の新聞記者生活」馬場恒吾
▼後七、三〇　國民歌謠　松原操
▼後八、〇〇　浪花節「梁川義人傳」龍甲齋右虎丸
▼後八、三〇　俚謠「石鎚山の唄」愛媛縣周桑郡千足山村有志
▼後八、四五　落語「夢屋」桂文治

愛情三度
吉川　延
瀧　秋方

橋畔　一
…（26）…

江戸幕府の勢力が次第に凋落するに從つて、京都の勢力は勃興する。浪士の威力は、新撰組の壓迫にも拘らず、依然として旺盛である。

里見大助は、賑やかな京の町を朝から夕方まで、何處をあてともなく歩いてゐる。

就職といふことは、今も昔もやさしいことではなかつたに違ひない。

京の町には、澤山の住民が、往來繁しく雜沓してゐても、自分の衣食を保證してくれる者が何處にあるか。

五條の橋の袂に、口入屋が二三軒並んでゐた。

彼は一寸考へて見たのである

いくら京都が人の集まる土地とはいへども、歩いてゐてばかりゐたとて、到底駄目だ。道の中央に、金もふけがころがつてゐる道理もない。

口入屋へ、一度入つて見てやらう、生れて初めての經驗であるだけに、虎口に入る[illegible]感であつた。

「許せ！」

と、彼は、大小を差したまゝの武士姿である。暖簾をはねて、狹い土間に入つて行くと、田舍出の、女中志望らしい娘が四五人腰をかけて、その傍には、風呂敷包がつんであつた。

「へイ、いらつしやいませ」

と、番頭らしい男は揉み手をしながら、へコ／＼と頭をさげる。

「一寸物をたづねるが、おまへの家は口入屋ぢやな」

「ハイ、左樣でございます」

「何處かよい口はないかなア」

と、彼は頗る鷹揚である。

「あの、女中でございますか、今日も、何處かへ奉公申しまして、こゝに待のでございます」

と、番頭は、早合點りで呑み込んで、大助がを探しに來たものと思つのである。

「ホー、男でも女中とがあるのかなア」

彼は感心してゐる。

「何でございます」

番頭は、彼の感心をことが出來ないものだかヨトンと目をまるくして

「さうぢやないか、俺が行けると申すのか、なア

「冗談おつしやいまして

「いや、俺の、眼めロを

彼は、微笑した。

「旦那がお勤めなさいます

……へエ、なるほど……

と、番頭は、いさゝかあはづれて、右手でそり立てを搔いて

「困りましたなア、旦那のなお方の、口入は、私の方したことがございませんの……ヘイ」

「何でもよいのぢや、風呂も出前持でも、なア番頭！

「御冗談でせう」

「冗談なんだ、何處かない

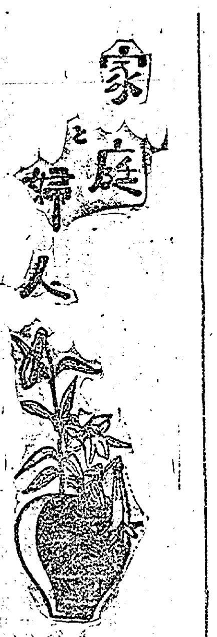
番頭は、彼の口のきゝ振冗談らしくもないので、一寸んがえたのである。

「旦那、それぢやア、お腰した大小を、お捨になつていのでございますか」

と、番頭が問ふ。

「勿論のことだ、捨てる決持つてゐる」

大助は、八百屋の離れ座屋敷と、喧嘩をした時からつこしい、武士の家柄が、になつてゐたのである。



野菜の買ひ方に無駄が有りませんか？

値切る許りが買ひ上手ではない

新鮮に…經濟的に

「野菜を上手に買ふ秘訣は安く買ふことの他に、無駄な買ひ方をしないことです。いくら安くても澤山買ひ込んで腐らしたり、味を惡くしたりしてしまつたのでは何にもなりません。貯へのきかぬものは、少々は高くついてもその時必要なだけづゝ買ひ、貯へのきくものは安いときまとめて買ふ。これが上手な買ひ方です」

買ひ置きの利くもの

□…では買ひおきのきくものとかぬものはどんなものがあるかと申しますと先づ買ひおきのきく野さいは馬鈴しよ、玉ねぎなどは、日常よく使ふもので

貯藏法も簡單ですから一番安いときに澤山まとめて買ふとおどろく程安く買へます。ごぼう、にんじん、ねぎ、さつまいも、里いもなどは、土つきでかつておくとよろしいです

□…買ひおきのきかぬ野さい、つまみ菜、小松菜、ほうれん草のやうな菜類、その他さやえんどう、さやいんげん、新そらまめ、枝豆の様な豆類ものは絶對に買ひおきのきかぬものです、品をよく見てすこしづゝ買ふにかぎります。きうりや茄子も

直ぐ色や味がおちてしまひます。やはり入用なだけかふことです。たけのこもかひおきは絶對にだめです。これほど早く味の變るものはありません、又た水につけてあるものも同じです

お徳用な買ひ方

□…次にかふ時の注意を申上げてみませう。百匁又は百瓦いくらとかで買つてみるものを幾錢分とかいつてかふ方が多い様ですがこれは目方を誤魔化されやすいから御損です。又水を吸つて目方のふえるものなどは、目方でかふのは損をします

□…人數によつて數をきめる場合例へばトマトを形のまゝでつけ合せるとか、ビフテキにつけ合せるボイル、ポテトとかいふものは

形も數もそろへなくてはなりませんから二つでも三つでも數でかふ方が經濟です

□…近くに農家があつて畑からすぐかふことが出來れば結構ですが多くは御用聞からか又市場でかふのですが、御用聞からの場合は餘程信用のおける店でないと惡いものをもつてきます。その點市場は品物が澤山あり節に値が安く且つ自由にえらんでかへるのですから日常食品は主婦が出かけてかふ方が結局經濟であり且つ新鮮なものが得られるわけであります

。。。

生そのまゝの 美味しいキウリの奈良づけ

村山農事研究所長 村山徳正氏談

とかく食慾不振のこのごろ食卓におしい漬物をそへてその増進をはかるのも一つの方法でせう、もちろんおいしい野さいの漬物は盛んに市場へ出廻つてゐますが、自分でつくられるのもまた味があり經濟です、そこでおいしい**きうり**の奈良漬のつくり方を次にお知らせしませう

きうりの奈良漬をつくるには、まづ最初青漬にします、これは見るから美味しさうな、生えのまゝの綠青につけあげるのですから勿論若い色のよいきうりをえらぶ必要があります

きうり一貫目につき、食鹽三合位六一升の割で鹽水を作ります、これを鍋に入れて煮立てた熱湯を樽桶の中に入れてあるきうりの上からつぎ込んで、すぐに押板をのせ強い重石をのせます、そして翌日から毎日鹽水をしぼり出し、鍋で煮立てたものをつめたくしてから樽桶に入れ重石をのせます、重石は翌日からすこしづゝ、輕くします、重石をかるくするのはうりがやせるからです、又鹽水は五日目に最初同樣熱いうちにかけます從つて煮立てをかけるのは、最初と五日目と十日目で、これで立派に色止めが出來ます、そして

綠色も固定するわけですが、たゞこの間で注意すべきことは、時々きうりを上下にかへしてやる事です、それからはじめてなさる方に申上げたいのは、三日位は色が惡くなりますが、これは決して心配するにはおよびません、色をよくするには硫酸銅を用ひる方法もありますが、素人の方で分量を間ちがへると危險ですから省きます

色止めの出來たきうりをながく保存するには、いまゝでの鹽水は今全部すてゝ一升から一升五合の鹽でつけかへします、すると何時までも持ちます

右の方法で出來上つたきうりをさらにおいしくするには、奈良づけとします、その仕方はまづ

材料として生のきうり一貫目に對し酒かす一貫目、食鹽一合、焼ちう一合三勺、味りん一合三勺の材料をよくまぜあはせたものに、色止めきうりをつけ込みます、一番上には鹽と焼ちうをふり、白紙を二枚重ねピッタリとつけて押フタを入れ密封します

これは名案

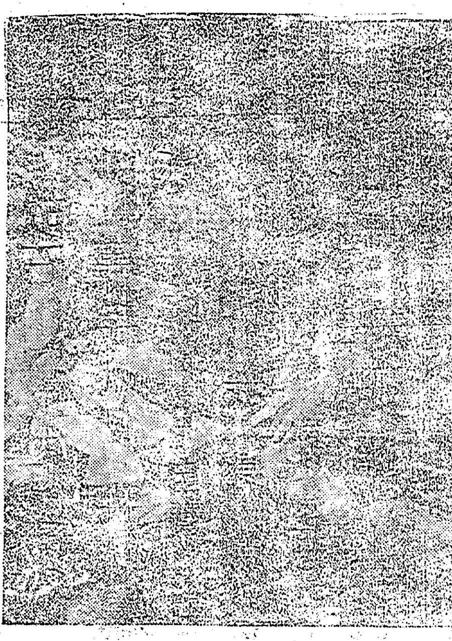
野菜の使ひ方

やさい類を半分だけ使ふ様なときは、かならず葉末から先に使ふ事、人參やごぼうなら先づ小さい物から處分する。一本を半分使ふなら細い方から、トマト、いも、きうり等ならキズのあるものから使ふこと、太くキズのないもの程腐くさるのはおそいです。貯藏は水氣のあるところをえらんでおくのがよく、流しの下などがよい

織物の張り方

めいせんなど艷の多い織物を洗張りにすると、その裂の持味の光澤を失ふ事があります。自宅で洗張に出來て、その艶を保たせようとするには、フノリの中に少量の生麩を加へるとよろしい。張板から織物をはがすには、裂が斜にならぬ様、静かにはがす事が大切です

流行美人のさまざま


松竹少女歌劇水の江瀧子さんと前大藏大臣高橋是清氏令孫高橋榮子さん

寫眞はこの寫眞、兩者の當選にお目にかけたものかどうかと、大分問題となつたのである……なんて冗談ですが、とにかく、このターキーとの仲のよさ―そして、女らしくも餘りに女らしくなり切つたターキーの寫眞、榮様の悲嘆の聲が聞えさうです。だのに、二人は今何と話してゐるか。トーキーなら、こゝで皆さんはその上惱まされるのである……

―いらしつたかとおもふと、もう時間がないから歸る……てんなつてないわ。御自分が、お[illegible]しといて。

―でも今日のふん装を拝見、だされば、ね、洋服をかぶるやうに、三分といふわけにはゆかないでせう。

―今度の「ローゼン・カベリヤ」とても素敵よ。

家庭メモ

針のサビぬ法

針差し袋の中に普通は綿を入れますが、そのかはりに毛髪をつめて御覽なさい、決して針はさびません

花嫁讀本

…第三話…

金目のかゝつた立派なドレスより、二三度の布地でも自分の個性を出したこのましいデザインで作つた手縫の洋服をきちんと身につけてゐる女性は、何となく奥床しいもので、女らしさの魅力に引きつけられます、こんな娘さんは、家庭生活に入つてもキチンとつゝましく、清楚なよい奥様になるでせう

良人の惡癖を直す法

旦那様の惡い癖は、奥様の惡い癖と同じやうに、數かぎりなくあります。それを一々ひろひ上げるわけにはゆかぬ。でも、この惡癖をなほせば、あとは自然に直る事、あたかも胃腸が治つて萬病が治るが如し。良人の惡癖に惱まされるのが主婦であれば、それを直すのも主婦である筈。それが出來ねば、一生の苦しみ。御勉強あるべし

夜の家庭を寂しくさせるのはたれか。旦那様方の夜遊びくせのためではないか。會社や役所で御用でいそがしい筈のが、赤い灯や青い灯のもとで、女給や藝者を相手にお樂しみとある。良人の夜遊びくせは、さても性の惡きものなり。夜遊びくせの旦那様は、とかく陽氣なことをお好きな方。こんな旦那様をお持ちの方は、家庭を明るく、諸事陽氣に振舞ひたまふにかぎる。家で良人を屈託させたまふべからず陽氣な家庭にうつしさへすれば、この惡癖は拭ふが如く直るべし。風邪引きにアスピリンをあたへるよりも、効目のあらはれは疑ひなし。

良人の夜遊びぐせを直す法

お試し下さい 美容體操

胸廓を擴げ背筋を正す

上腕を腕で支へ腕を屈撓させる運動―

（この運動は上腕をゆたかな線にし、胸廓をひろげ、背筋を正しくし、腰の恰好を美化し、足の線も美しくします）

◇…高い椅子、タンス、窓の枠等について立ち、兩手をこれ等の上端において身體を支へます（圖の一）

◇…兩腕をまげて身體を前方にかたむけます（圖の二）

◇…それから一圖の姿勢に戻る、このやうに十二回位腕をまげます

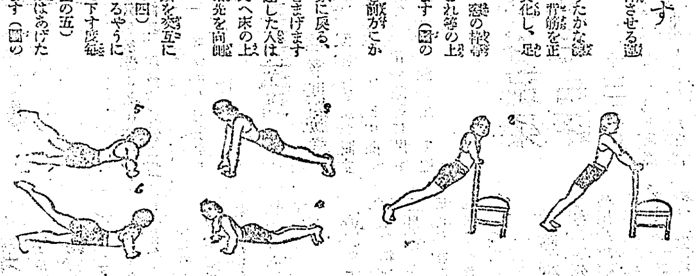
◇…以上の運動が上達した人は兩手と爪先で身體を支へ床の上で行ひます、兩手は指先を前方にむける（圖の三）

兩腕をまげる度毎に頭を交互に横向けにします（圖の四）

◇…以上の運動を堪へるやうになれば、兩腕で支へて下す度毎に片足を擧げます（圖の五）

◇…片足を上げる時、頭はあげた足と、反對の方へ向けます（圖の六）

◇…第一、第二と順に練習して上達したなら第三の運動だけを十二回位行ふやうにします、呼吸は身體を下げる時に吸ひ、上げる時に吐きます



不滅のシンボル

群司次郎正 作

（[illegible]）

……第六十七回……

追想（四）

靜い世界へ入ると、杏二は先づ口をきいた。

『さあ』

早百合はにつこりして、

『まだ私、決めてゐないんですのよ。だつて、參つたばかしなんですもの』

『はゝゝ。それもさうだな』

『貴方はいつ頃東京へ行らつしやいまして？』

今度は早百合が訊く。

――どうせ、近いうちには又自分も東京の人になるからといふことを、昨夜色々に彼が話したのだつた。

『さあ。また、其の時期はハッキリと定りませんがね』

……昨年文藝講演に遊つて來た先生の山野から、此頃又出て來いと頻りに進められてゐる事を思ひ出しながら、こんな土地は俗惡凡庸と女の外に何にもない老人の天下たる土地には、一日でも早く『さよなら』を極め込まなければならないと、心に思ひながら、杏二はさう云つたのであつた。

『でも、行らつしやることは行らつしやるんでせう？』

早百合は、杏二を凝視した。

『女ほど嫌なものはないわね』

色んな職業の役で、早百合は意味ありげに云ふのであつた。

……昨夜のことである。

『職業を以て男女の優劣を決することは出來ないが、そんなことを云へば、男だつて別に得なことはないぢやないですか』

餘り論爭もなさゝうに、杏二は云つた。

『だつて、男の方は得ですわ。私は男に生れて來ればよかつたといつもさう思ふわ。此頃は一層さういふ感じが強くつてよ』

『よく云ふやつですね。誰もが旅に女か……。併し、男に生れたばつかりに損をする場合がありますよ、隨分』

『例へば、どんな時？』

『そりや一寸、説明し兼ねるが……』

『男の方は自由で、思ふ通りに何でも出來て、さうして、世間からは女以上に尊敬されたり……職業について見ましてもね、男の方はどれだけ得な立場に置かれてゐるか知れやしませんわ』

『さうばかりも云へないな。男には責任がありますからね。總てに體裁だけで濟まれない場合が多いですからね。理知といふものを浸却することは出來ませんからね。其所へ行くと、女は得ですよ。感情本位で、受身で、倚り懸つてゐさへすれば、それでいゝんですからね。どれだけ樂だか知れやしない』

『そんなことはありませんわ。やつぱり男の方が得よ。ずつと得だわ。何故つて、此の世の中が、社會が皆んな男の爲めに出來てる社會なんですもの。女はお親身のつまほどの價値もないわ』

『さうは云はせませんよ。女なくては夜も日も明けない國つて云ふぢやないですか』

『それは冗談よ。女ほど詰まらないものはないわ。感傷と衆愁と墮落が、そこにはあるばかりですもの』

元東京市教育局學校衛生技師 醫學博士 岡田道一先生著
『育兒法と牛乳の用ひ方』
定價一部十錢でございますが赤ちやんのあるお母樣方に無料で差上げたいと思ひます
御希望の方は遠慮なく御申込み下さい
平市鎌田町
岡田ミルクプラント
（電話五一番）

メガネは！
平市二丁目
玉屋

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話八六番

美味・衛生的
夏！！飲料界の王座
アイスキャンデー
アイスクリーム
始めました。僅か一本……涼味が満喫出來ます。是非御散歩がてら御出かけ下さい。
[illegible]
平市二丁目 電話一四一番

平病院（電六四一番）
平市警察署側【元共濟病院跡】
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
今般副院長トシテ高橋俊幸氏ヲ招聘シ「内職外科、一般外科、皮膚泌尿器科」ノ診療ニ從事セシム
内科 院長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
内臓外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 部長 鈴木定藏
物理的療法科 吉川元雄
藥劑科 部長 吉本孝平
◎診療時間 毎日午前八時ヨリ午後九時迄
（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診隨時
病室完備…入院隨時【自炊ノ便アリ】
入院料 一日 特等貳圓・一等壹圓五拾錢・二等壹圓參拾錢

敬神崇祖皇國精神
祭壇賑はす
うら盆提灯
戒名入提灯……岐阜提灯
御用命は是非……
電話九五番へ！
平市四丁目
スガノヤ提灯店

根本產科婦人科醫院
平市南町五二【電話四三番】
根本莊次郎
根本貞雄
（入院隨時）

（夜間診療）
胃腸
内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
松村胃腸性病醫院
平市南町（電話一〇七番）

◎◎◎
氷は！魚清
【電話四六七番へ】
平市二丁目警察通り
本店 魚清氷卸部
江名町築港内
支店 江名販賣店
電話六九番

專門
花柳病科
婦人科
產科
▼入院隨意
井坂醫院
平市田町 電話五五九番

磐城セメント會社特約店
釜屋商店
磐城平市五丁目
電話九・九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久の生命なり

美味！芳醇！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

神佛具
橋本屋造花店
平市新川町（電話一六三番）